

# “自走ロボ”見事に完成

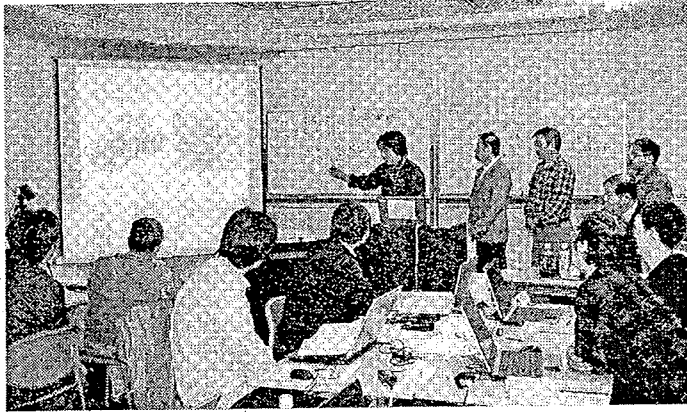
## 商議所が 人材育成

# 電気自動車の開発

柏崎商工会議所(西川正男会頭)は6日、市内榊井川、市ものづくり活性化センターで電気自動車関連産業を担う人材育成カリキュラム「開発プロジェクト演習」の研究成果発表会を開いた。これまで取り組んだ自走ロボットの開発成果を発表し、課題などを報告した。発表会では4人1組の5

チームがそれぞれ30分以内の制限時間内で、開発したプログラムで動く自走ロボットの実演を行い、自ら設

定した目標に対する成果と課題を報告。他チームからの質問を受けた。自走ロボットは9月から



電気自動車関連産業を担う人材育成カリキュラム「開発プロジェクト演習」の研究成果発表会

11月にかけて合計6回の研修を重ね、各チームが走行プログラムを開発した乾電池で動く長さ約10センチの小型自動車キット。黒地に白線で描かれた8の字や三角形のコースなどを外さずに走行でき、外れた場合でもすぐに元に復帰できるが共通の課題となった。

各チームは自走ロボットに取り付けられた三つのセンサーから車がコースを外れていないかどうかを判断させ、プログラミングした走行制御機能が正確に働くかどうかを試した。同時に担当を分け合って行ったプロジェクトマネジメントの成果も報告した。

走行テストではほとんどのチームが目標を達成。発表チームのシステム開発に関しての考え方の違いや似ている点に他チームがうなずくことも多く、お互いの成果をたたえあった。

この事業はいがた産業創造機構の地域技術高度化支援「産業基盤形成支援事

業」の助成を得て行われたもので、演習はNECライニングとNECソフトの両社が指導した。NECライニング・テクノロジー研修事業部の小田島健太主任が「短期間で予想以上に頑張ってくれた。独自の解決策でハラエティーに富んだ発表となった」と評価した。最後に西川会頭から受講者全員に修了証書が手渡された。